

「2学期を迎えて」

函館市教育委員会学校教育部長 岡野 伸二

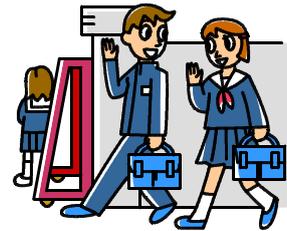
今年の夏休みも大きな事件・事故がなく、2学期をスタートすることができました。

これもひとえに、各学校が行ってきた事前指導や、休み中における「声かけ」「巡視活動」そして「家庭訪問」等のきめ細かな指導のおかげと改めてお礼申し上げます。

始業式の朝、ある小学校の通学路で、1人の小学生が夏休みの宿題をいっぱいつめたと思われる大きな袋を持って、元気よく校門を走りぬける姿を目にしました。「おはようござます。」「おはよう。随分、顔焼けたな。」「はい。」朝のスタートから、校門で繰り広げられる、教師と子どもとのさりげないコミュニケーションの風景に、その学校の指導理念、子ども理解に対する「覚悟」を学ばせてもらいました

実りの2学期です。各学校の創意溢れる教育実践を大いに期待しております。今学期も、教育現場の一助となるよう努力致します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



## シリーズ：言語活動の充実に向けて⑤

国語科で培った能力を基本に、全ての教科等でその特性を踏まえつつ充実することが大切です。

理科では・・・

観察・実験の結果を整理し考察する学習や、科学的な言葉や概念を使用して考えたり、説明したりする学習を充実させることが大切です。

- 観察・実験の結果を分析して解釈する能力
- 導き出した自らの考えを表現する能力

そのために

- 観察・実験の結果を整理し考察する学習活動
- 科学的な言葉や概念を使用して考えたり、説明したりする学習活動

たとえば

- ・図、表やグラフの作成
- ・モデルの活用
- ・コンピュータの活用
- ・レポートの作成や発表、討論

たとえば…

- 問題解決の過程で、科学的な言葉や概念を使用して、考え、表現させる学習
- 予想や仮説を立てる場面で、問題に関する考えを記述したり、話し合いを適宜行うことにより、条件に着目したり、視点を明確にして、自分の考えを表現させる学習
- 結果を整理し、考察し、結論をまとめる場面では、結果を表やグラフに整理し、予想や仮説と関係づけながら、考察を言語化し、表現する学習

